

人間と思想

心理学

《担当者名》非常勤講師 / 安喰 智美

【概要】

心理学は精神機能と行動の科学である。

本講義では、保健・医療・福祉分野で必要とされる心理学の基礎的な知見を概説する。

この講義を通じて、心理学の各分野における基礎的な知識を身につけ、それらについて説明できるようになる。

そして、今後支援の現場に出た時に活用できる知識として身につける。

【学修目標】

感覚・知覚、学習、認知、動機づけと感情、ストレスと心の健康、比較行動学、発達、パーソナリティ、対人行動、文化と人間など、代表的なトピックにおける基本的事項について理解し説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|--------------|--|-------|
| 1 | 医療と心のつながりを知る | 医療関係者がなぜ心理学を学ぶ必要があるのかについて理解する 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 2 | 感覚と知覚 | 感覚と知覚の基本法則や、知覚と物理的世界の関係についての基本事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 3 | 記憶の仕組み | 人の記憶がどのように貯蔵され引き出されているのかについて基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 4 | 学習 | 様々なタイプの学習についての基本的事項を理解し説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|----------------|--|-------|
| 5 | 発達心理学 | 発達の諸側面についての基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 6 | 発達心理学 | 発達の諸側面についての基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 7 | 知能とパーソナリティ | 人の知能とパーソナリティの諸側面についての基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 8 | 社会心理学 | 人と人とのつながりを支える心の仕組みについて基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 9 | 対人コミュニケーションの技術 | コミュニケーションの双方向性や対人相互作用における技術について基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 10 | 動機づけと感情 | 人間の行動を始動させ方向づける要因や、感情の種類・機能についての基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|------------|---|-------|
| 11 | ストレスのメカニズム | ストレスとメンタルヘルスについての基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 12 | 心の防衛反応 | 心理的な防衛機制について基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 13 | 精神疾患の基礎知識 | 精神疾患についての基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 14 | カウンセリングの技法 | 問題を解決する際の人の成長や発達を支える相談活動についての基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |
| 15 | セルフケア | 支援者自身のセルフケアについての基本的事項を理解し、説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 薬学準備教育ガイドライン (2)- | 安喰 智美 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験）100%

【教科書】

美濃哲郎，大石史博 編 スタディガイド心理学第2版 ナカニシヤ出版

【参考書】

NEWTON別冊 新・ゼロからわかる心理学 NEWTON PRESS

中澤 潤, 坂本真土, 天谷裕子, 小川健二, 古川洋和 心理学概論アップデート

【備考】

【ICTの活用】

学習教材（授業資料）の配布にはgoogle class roomを利用する。

【学修の準備】

予習：各回の「授業内容および学習課題」に挙げられているキーワードについて、教科書やインターネットなどを利用して事前に予習を行う。（2時間）

復習：学習内容を自分の言葉でまとめる。教科書や配付資料の当該部分を精読し、講義中に触れられなかった内容の補完や講義内容との統合を行うこと（2時間）。

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。

【関連するモデル・コア・カリキュラム】